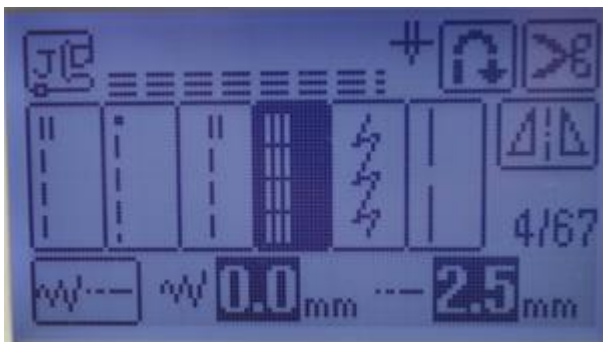


生地に柄をや印を写します。
 ポンチや目打ち、不要になったミシン針等で型紙に穴を開けます。
 その穴からチャコペンで、印を写していきます。
 ボタンなどの印は表から、ダーツなどは裏からつけた方が分かりやすいですよ。

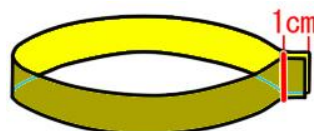


よく伸びるニットの縫い方

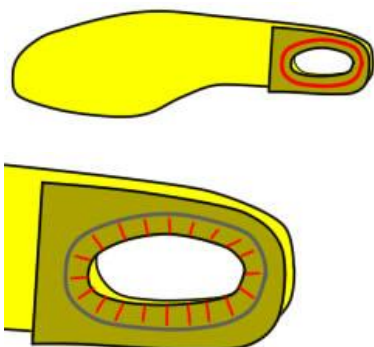
普通の縫い方だと糸が切れるのでニット用のレジロン糸を購入してください。
 図のような三本線の柄を選択上糸の調子を強めにして縫ってください。
 これだとかなりの伸縮でも耐えます。
 ただし合皮関係は縦方向はほとんど伸びないので、縦方向に縫う場合は普通の直線縫いでも大丈夫です。



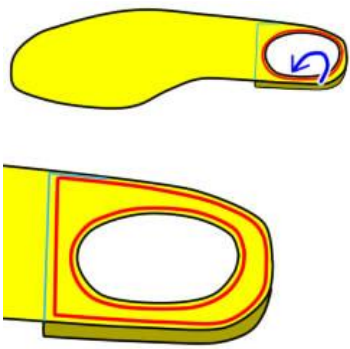
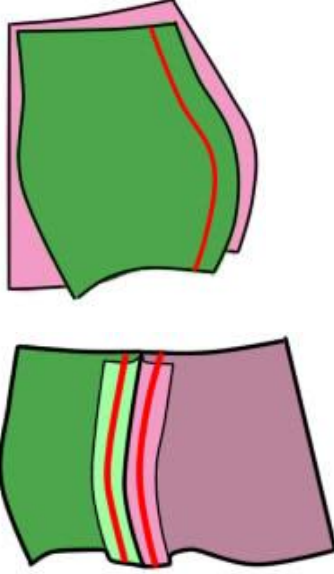

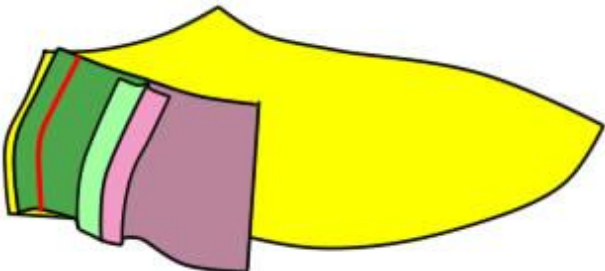

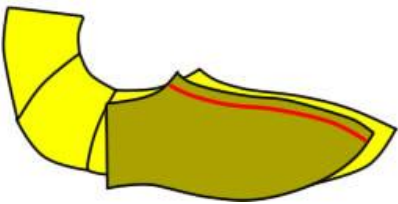
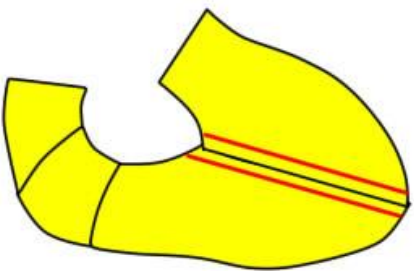
寸法確認用ガイドの型紙で本番用の生地を切ってください

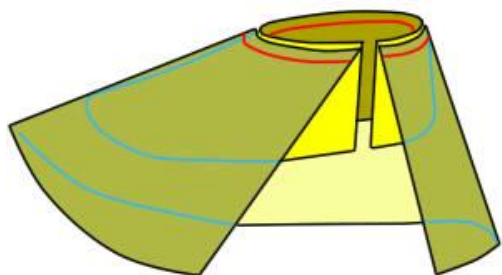


二つ折りにして脇を縫ってください。
 そして実際に足をとおしてきつくないか確認してください

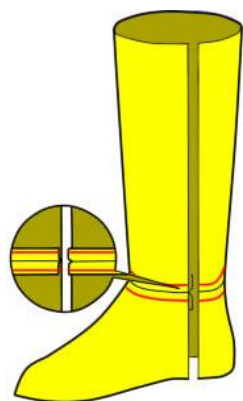


靴底の見返しと靴底を表同士が内側になるように重ねてください。
 カーブの縫い代に縫い目を切らないように切り込みを入れてください。

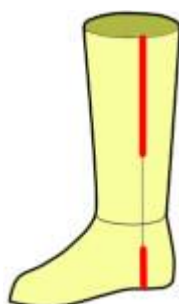
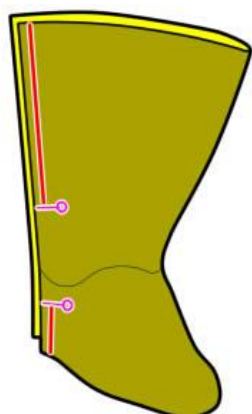
	<p>見返しを裏にひっくり返してください。</p> <p>ふちから 5mmの所を縫って固定してください。</p>
	 <p>かかとを表同士が内側になるように重ね縫ってください</p> <p>縫い代は左右に折ってください。</p>
	 <p>かかとのパーツと外側のつま先のパーツを表同士が内側になるように重ね縫ってください</p> <p>縫い代は左右に折ってください。</p>
	<p>外側のつま先に、内側のつま先のパーツを表同士が内側になるように重ねて縫ってください。</p>
	<p>縫い代は左右に折ってください。</p>



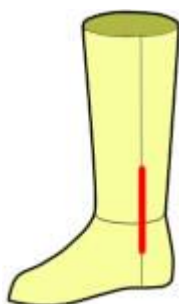
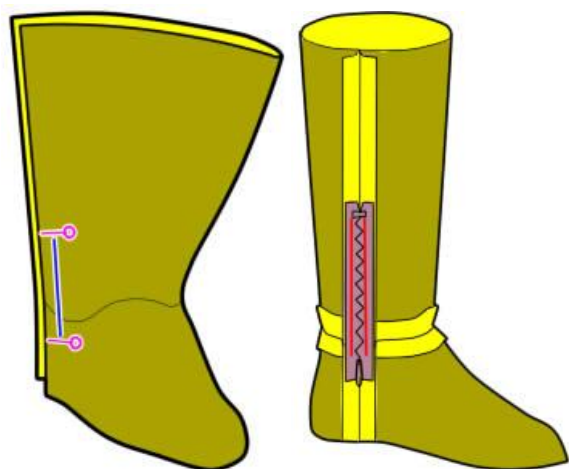
足先の部分とすねの部分を表同士が内側になるように重ね縫ってください



縫い代を左右広げてミシンで固定してください。

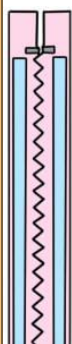
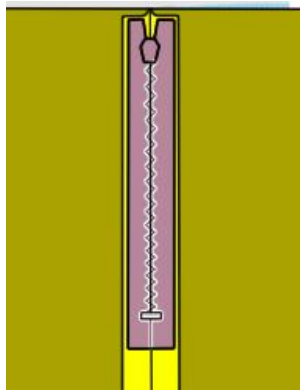


裏が見える状態で脇を縫ってください。

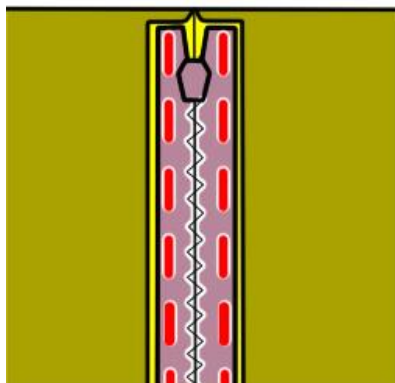


ファスナーをつけてください。

引き手が下、ファスナーが外れないようにする四角い金具が上になるようにおいてください

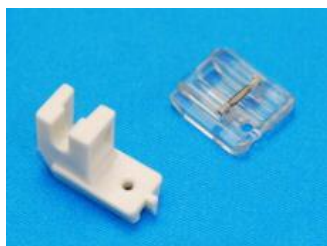


あれば熱接着の両面テープをファスナーの表面に貼ってください。
裏を上にして生地を置いてください。
熱接着の両面テープのはくり紙をはがしてください。
縫い代の上に、裏を上にしたファスナーを置く。
アイロンで固定してください。

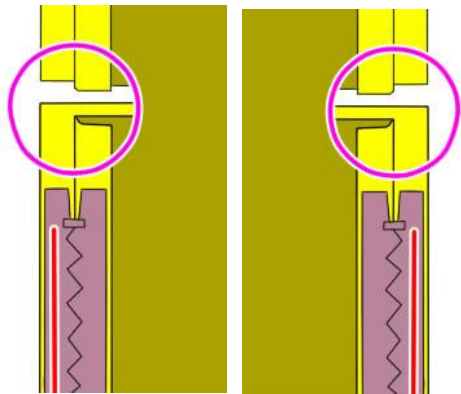


熱接着の両面テープが無い場合

れば手縫いで2cmくらいの大きい縫い目でしつけ糸でファスナーと、縫い代だけを開きどまりの所まで大雑把に縫う。



ミシンの押さえをコンシールファスナー押さえに替える。
このコンシールファスナー押さえは一般的な家庭用ミシンであれば数百円で購入ができます。
お洋服を作る人は1つ持っておくと便利ですよ。
左側は軸から替えるタイプ、右は後のボタン押して押さえを交換するタイプ用
コンシールファスナー押さえはこのように裏側に溝が入っています。



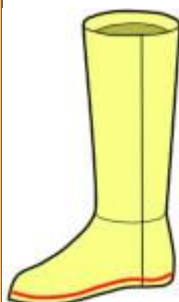
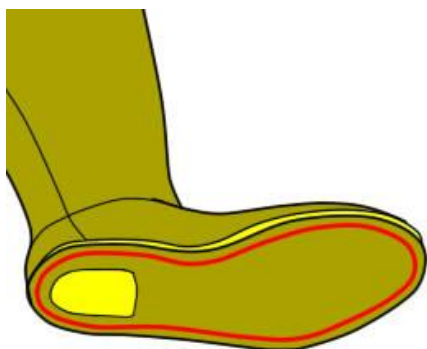
縫うときは縫い代以外を縫いこまないようによけてから縫ってください



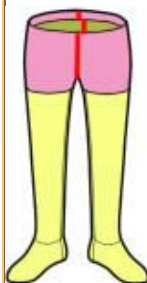
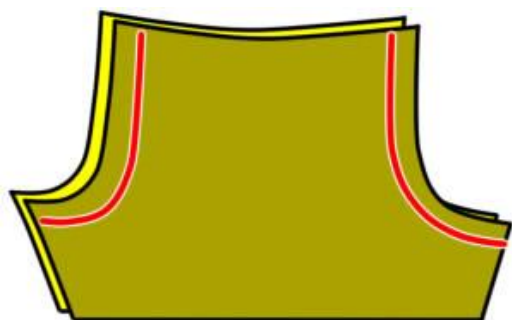
この溝にファスナーのムシ(レール部分)を入れて縫うと、ファスナーのムシのそばギリギリを縫うことができます

そして開きどまりまで縫います

これでファスナー付け完成



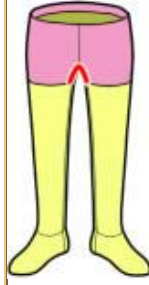
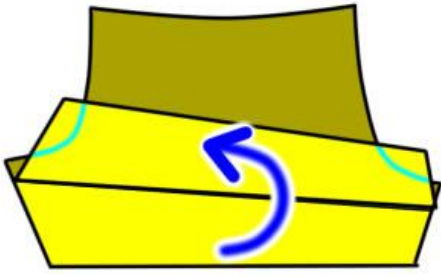
表同士が内側になるように底とブーツ上側をあわせて縫ってください。



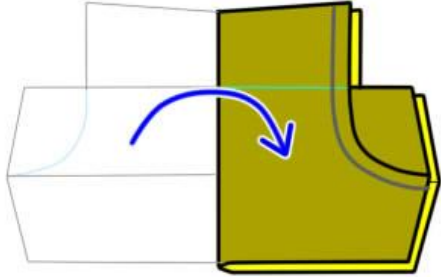
腰部分を作ります

表が内側同士になるように重ねてください。

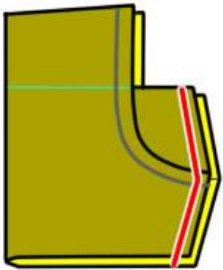
赤線の所を縫ってください



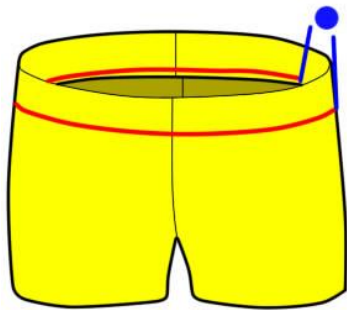
またの下の部分を1枚上に折ってください。



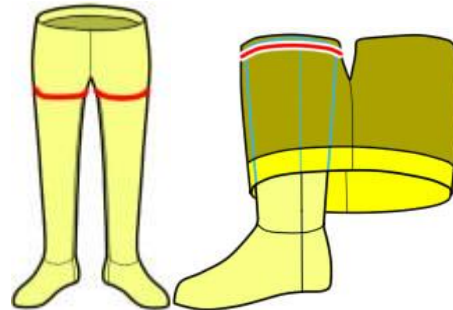
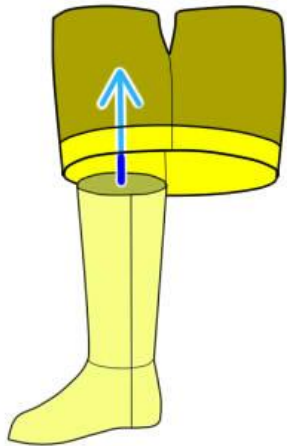
上の図で片方折ったまま縦に半分に折ってください。
反対側の端とあわせてください。



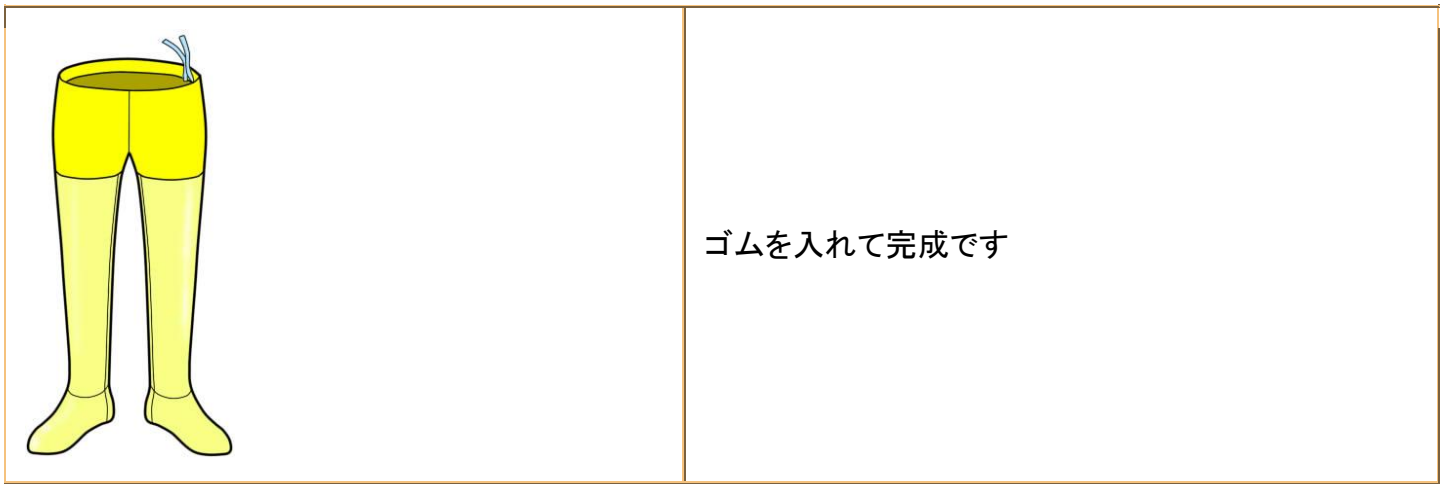
端をまっすぐに縫ってください



縫い代を内側に折ってください。
布の切り端から5mmくらいの所を縫ってください。
● = 脇などの目立たない場所を1.5~2cm程縫わず
にあけておいてください。
ここからあとでゴムを入れます。



表にしたブーツ部分に裏が見える状態のズボンをかぶせて縫ってください。



・必要な材料

表生地、コンシールファスナー20cm 平ゴム(通称パンツのゴム) ニット糸

・オススメの生地

ストレッチエナメル テカテカした光沢のある伸縮のある合皮

ストレッチレザー つやのあるものから、つやのない渋いものも。

一方向の伸縮のものや、レオタード生地のような強い伸縮はないものが多い

2WAY レオタード生地とも呼ばれる。縦横に伸びる生地

エッフェル スーパーストレッチミシン糸 家庭用ミシンでもレオタード生地が縫える特殊糸

生地が伸びるので、同じように伸びる糸を使用しないと糸が切れます。

ただ、特殊糸なので高速で縫うと糸が切れやすいので、時々糸がねじれてるなどと思ったら、糸をかけなおすと良いです。

もちろん下のボビンにも伸びる糸を巻いてください。

数字が大きい方が細いので50番を購入してください

ニット針 ニットは伸びるので繊維を切断すると伸びたときに穴が大きく広がりやすいので出来るだけ生地に負担をかけないニット糸を使うと良いです

数字が小さいと細く、数字が大きいと太くなります

大体11番があれば事足りると思います。

コンシールファスナー 一般的なワンピースなどに良く使われる、ファスナーのレールの部分が目立たないファスナーです。

普通の手芸店で売っています。

100円均一のコーナーのコンシールファスナーは長さ調節の金具がついていないので、普通の手芸店のものを利用してください